

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安全で災害にもしなやかに対応できる無電柱化の推進（無電柱化推進計画支援）（防災・安全）											
計画の期間	平成31年度～平成35年度（5年間）											
交付対象	熊本市											
計画の目標	安全で災害にもしなやかに対応できる無電柱化の推進のため、電線共同溝の整備を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	4,648	A	4,648	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30末)	(H33末)	(H35末)
1	熊本市域の無電柱化計画路線における緊急輸送道路の無電柱化完了率を平成35年度末までに94%に向上。 熊本市域の無電柱化計画路線における緊急輸送道路の無電柱化率。 (無電柱化計画路線における緊急輸送路の無電柱化整備完了延長 / 無電柱化計画路線における緊急輸送路の無電柱化整備計画延長 × 100)	89%	92%	94%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

熊本市公共事業評価監視委員会による審議

事後評価の実施時期

令和6年10月

公表の方法

熊本市ホームページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関する
交付対象事業の効果の発現状況

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

本計画としては計画完了するが、未完了事業については、令和5年から新たに着手している他の関連する計画等において引き継いでおり、引き続き道路整備等を行い、事業推進する取り組みを継続していく。

案件番号：

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	94%	熊本地震の影響等およびコロナ感染拡大により、湧水が存在する施工困難性が高い本工種において、専門技術者の配置が困難となったため、複数回にわたる不落が生じ、工事進捗に影響が生じたことが、目標値と実績値に差が出た要因と考える。
	最終実績値	92%	